

進級おめでとうございます！

2026年4月9日(木)

野毛山幼稚園 園長 奈良 昌人



心躍る春を迎え、新しい年度が始まりました。進級されたくるみ組、ばら組の保護者の皆さん、お子さんのご進級おめでとうございます。新しい学年にさぞ大いなる期待を持たれてこの日を迎えられたことと思います。

昨年度は幼稚園とひつじ会の活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。あらためてお礼申し上げます。同様に、本年度もどうぞよろしく願います。

さて、本園は今年創立76年を迎えます。「キリストの教会」のアメリカ人宣教師エロール・アレン・ローズ先生夫妻が、敗戦した日本にとって幼児教育こそ大切であると考え、1951年に野毛山の地に教会と共に幼稚園が創立されました。以後、神さまのお守りと歴代のひつじ会の皆さまのご協力により、野毛山幼稚園の今日があります。

近年、少子化の進行は一段と加速していて、この1～2年の間にも子どもを取り巻く環境は大きく変化してきました。共働き世帯の増加などにより保育ニーズそのものは依然として高い水準にある一方で、幼児教育の「質」が大きな課題となっています。東京大学大学院の野澤祥子先生は、「昨今、世界的に『質の高い幼児教育』が将来の Well-being に直結すると注目され、国内でも「こども基本法」や「はじめの100か月」の育ちビジョンが策定されるなど、子どもの権利を尊重する動きが加速しています。」「その一方で、現代の保護者はSNSを通じた情報の「チェンバー(閉ざされた空間)」化や、自己の生き方を重視する価値観への変容により、育児への不安や孤立を深めています。」「しかし、幼稚園には「遊びの中にこそ本質的な知的教育がある」という専門的価値があり、それを保護者の皆さんに伝えていく役割が求められる。」と言われます。その通り、これまでに培ってきたことを踏まえて、2026年度も安全で楽しい幼稚園生活を子どもたちと、そして保護者の皆さんと行なって参ります。おとなも子どもも、わくわくドキドキ(スペイン語でアニメーション)の経験をたくさんし、共に育ち合いながら、子どもたちにたくさん愛情を注ぎ、大切に育てて参りましょう。